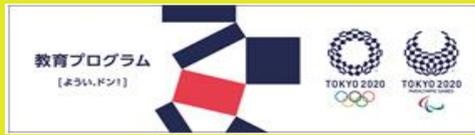


オリパラ便り



平成30年12月12日(水)
第6号

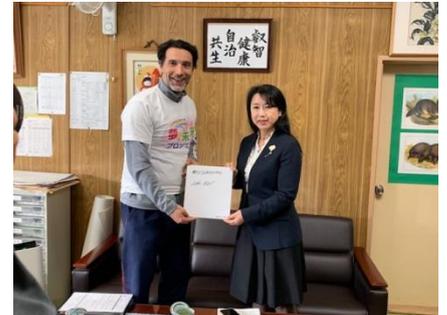
<夢・未来>プロジェクト開催

ネメシュ・ローランド氏 (元ハンドボール日本代表コーチ) 講演・体験 (全学年)

前回の「オリパラだより」で紹介させていただきとおり、講師のネメシュ・ローランドさんはハンドボール日本代表からジュニア選手までを支える一流コーチです。講演では、ハンガリーと日本の交流などについてお話していただきました。また、ご自身のスポーツ経験などの話を通して、「自分が好きなことをちゃんとやること、将来の大きな楽しみに向けてやるべきことはしっかりやっておくこと」など、生徒たちのやる気を出させてくれるようなお言葉もいただきました。

実技指導では、ハンドボールを使って、ボールの投げ方の種類や、相手がいるときのボールの投げ方などを実演していただきました。やはり、目の前で実際に投げているところを見ると、迫力がありました。生徒たちも、立ち上がって見ていたり、身を乗り出して見ていたりして、夢中になっていました。質問の時間には、「試合の前にやっていることは何ですか」というものや、「大きくて筋肉質な体にするためにはどうすればいいですか」といった、スポーツをやっている生徒の憧れの気持ちも含んだ質問がありました。

4校時の2年生のハンドボール体験では、2種類のゲームを行いました。ネメシュ先生は、終始「頭を使うこと」を強調していました。スポーツで大切なことは体力だけではなく、いかに頭を使うか、コミュニケーションを取りながらできるか、また指導者などの話をしっかり聞いて受け入れることができるかなどを伝えてくださいました。常日頃、部活動で顧問の先生方から注意されていることと結びつけられた生徒もいたのではないかと感じました。実技をした人だけでなく、見学した学年の生徒全員にとって有意義な時間になったと思います。一つ一つの言葉を大切に、スポーツだけでなく日常生活にも繋いでほしいと思います。



「おもてなしの心」マナー講師 江上いずみ先生講演 (1年生)

江上さんには、1年生に向けてマナー講座をしていただきました。江上さんは、筑波大客員教授をしており、以前は国際線・国内線の客室乗務員として業務されていました。現在、大学や官公庁、企業などで『グローバルマナーとおもてなしの心』などの講演を手がけ、「おもてなしの心」をテーマに講演をされています。

マナー講座では、第一印象を高める5原則や、相手を傷つけない言葉がけ、「目→物→目」の受け渡しなど、おもてなしの心をもった、人との接し方やあいさつについて教えていただきました。また、オリンピック・パラリンピックに向けて、国際理解教育としての握手のポイントや、扉のノックの国際基準マナーなど、外国人の方々をおもてなしするときの注意点なども教えていただきました。おもてなしの「言葉をかけることの大切さ」「おもてなしをする相手によって表し方は違う」「相手に喜んでほしいという気持ち」など、今すぐにも心掛けて実践できるようなポイントをたくさん教えてくださいました。ぜひ、「おもてなしの心」をもって、学んだことを活かしてほしいと思います。